

「新しい国語」(第4学年)年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」、「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分をその内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第3学年及び第4学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語> 第3学年及び第4学年

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

- 【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応
- 【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応
- 【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

- 〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項
- 〔思考力・表現力・判断力等〕 A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

4年				
月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	もしも、どうしたい 2時間(話聞2) 教科書:上巻P.10～11	●互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやりとりを続けることができる。 ◇対話をする。A(2)イ ----- 1 教科書の対話例を見て、互いの考えの共通点や相違点に着目しながらやりとりを進めるといふ学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 2 話題を選び、想像したことの共通点や相違点を見つけながら対話をする。 3 対話をして気づいたことを出し合う。 4 よりよい対話のつなぎ方について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などに注意して話している。(1)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの考えの共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ 【主】 ・これまで学習したことや対話をした経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く互いの考えの共通点や相違点に着目しながら、対話をしようとしている。	
4	グループにまとめて整理しよう 2時間(書2) 教科書:上巻P.12～13	●集めた材料を共通な性質に基づいて分類して、整理することができる。 ◇書き出した情報を分類し、整理する。 ----- 1 教科書の整理した例を見て、学習課題を確かめる。 2 一年間でがんばりたいことを書き出して、見出しを付けて整理する。 3 他の話題について思いつくことを書き出して、分類して整理する。 4 多くの事柄の整理の仕方について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ・比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、目的を意識して、想像したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主】 ・これまで学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く集めた材料を分類し、整理しようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>想像したことを音読で表そう こわれた千の楽器 ・国語のノートの作り方</p> <p>8時間(読6書2) 教科書:上巻 P.16~27</p> <p>【言葉の力】 想像したことを音読で表す 【おさえる】 音読ともく読</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 人物の様子や気持ちを思い浮かべて音読する。(3上「すいせんのラッパ」)</p>	<p>●人物の様子や気持ちの変化に注意しながら想像を広げ、想像したことを音読で表すことができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 これまでに学習したことや音読をした経験を振り返って想像したことを音読で表すという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 「こわれた千の楽器」を読んで、それぞれの場面の楽器たちの様子や気持ちを想像する。 3 想像したことを聞き手に伝わるように、音読で表す。</p> <p>【振り返る】 4 想像したことを音読で表すために、どのような工夫をしたのかを振り返り、身につけた「言葉の力」をどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、想像したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや音読をした経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く登場人物の気持ちの変化を叙述を基に捉えて、物語を音読しようとしている。</p>	
4	<p>図書館へ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.28~31</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 図書館の本の分類や配架について理解する。(3上「図書館へ行こう」)</p>	<p>●図書館の本の分類について理解を深めることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 図書館の本の分類について理解を深めるという学習課題を確かめる。 2 図書館に行き、ある題材に関係する本をさまざまな棚から探す。 3 図書館の本の分類について、学習したことを確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、進んで読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、図書館を利用しようとしている。</p>	<p>・国語の説明文教材の学習に生かす。 ・社会科や理科、総合的な学習などで調べる学習を行う際に、図書館の本を用いて調べる。</p>
4	<p>漢字辞典の使い方</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.32~35</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 国語辞典の仕組みや使い方を理解する。(3上「国語じてんの使い方」)</p>	<p>●漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 漢字辞典の仕組みを知って漢字を調べるという学習課題を確かめる。 2 漢字辞典の仕組みを知り、部首索引を使って漢字を探す方法を理解する。 3 総画索引と音訓索引を使って漢字を探す方法を理解する。 4 三つの索引の使い分けについて考える。 5 漢字辞典の使い方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・当該学年までに配当される漢字を読んでいる。(1)エ ◎辞典の使い方を理解し使用している。(2)イ ・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、積極的に漢字辞典の使い方を理解し、漢字の学習に活用しようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	<p>説明のまとまりを見つけよう ヤドカリとインギンチャク</p> <p>10時間(認8書2) 教科書: 上巻 P.36～45</p> <p>【言葉の力】 文章のまとまりをとらえる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 段落の内容を捉える。(3上「自然のかくし絵」)</p>	<p>●段落相互の関係について理解し、文章の構成を捉えることができる。 ◇文章のまとまりを捉え、説明の仕方について考える。C(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでの学習を振り返って、文章のまとまりを捉えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「ヤドカリとインギンチャク」を読み、文章構成を捉える。 3 ヤドカリとインギンチャクの関係について、説明のまとまりに着目しながら読み取り、図や表で表す。 4 筆者の説明の仕方について考える。</p> <p>【振り返る】</p> <p>5 文章のまとまりを考えたときに、どのような点に注目したかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・指示する語句と接続する語句の役割について理解している。(1)カ ・考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで段落相互の関係に着目し、文章のまとまりを捉えようとしている。</p>	<p>・理科で、文章のまとまりを意識して観察文や報告文を書く。 ・図鑑や本などから情報を得る。(情報活用能力)</p>
5	<p>たしかめながら話を聞こう ・メモの取り方</p> <p>5時間(話聞5) 教科書: 上巻 P.46～50</p> <p>【言葉の力】</p> <p>・聞きたいことの中心を考えて聞く ・話を聞いて質問する</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 だいたいなことを落とさず聞く。(3上「メモを取りながら話を聞こう」)</p>	<p>●聞きたいことの中心を考えて聞き、必要なことをよく知るために質問をして、自分の考えを持つことができる。 ◇話を聞いて質問する。A(2)イ</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことや話を聞いた経験を振り返って、聞きたいことの中心を考えて質問するという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 教科書 P48 のやりとりを、メモを取りながら聞く。 3 相手の紹介する本について聞きたいことを整理する。 4 自分の紹介する本について話すことを整理する。 5 質問し合いながらお互いに紹介する本を知る。 6 どんな本を紹介するのか、自分の考えをまとめる。</p> <p>【振り返る】</p> <p>7 どんなことに気をつけて、話を聞いたり、質問したりしたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・全体の中心などの情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持っている。A(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことや人の話を聞いた経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで聞きたいことの中心を考えて、質問しながら話を聞こうとしている。</p>	<p>・社会科で調べるために人から話を聞く。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	<p>みんなで新聞を作ろう</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.52~57</p> <p>【言葉の力】 知らせたいことを新聞で伝える</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 調べて分かったことを伝える。(3下「調べて書こう、わたしのレポート」)</p>	<p>●知らせたいことが明確に伝わるように記事を書き、見出しや割り付けを考えて、読み手の興味をひく新聞を作ることができる。</p> <p>◇新聞を作る。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、知らせたいことを新聞で伝えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 新聞作りの計画を立てる。 3 学校取材をして、記事を書く。 4 割り付けをする。 5 新聞を完成させる。</p> <p>【振り返る】</p> <p>6 知らせたいことが、読み手に伝わるように、どんな工夫をしたかを振り返って、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解している。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、相手を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・これまで学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて、新聞を作ろうとしている。</p>	<p>・総合的な時間で校外学習や学校行事の体験を新聞にまとめる。</p> <p>・写真や図表を活用する。(情報活用能力)</p>
6	<p>人物の変化をとらえよう 走れ</p> <p>10時間(読8書2) 教科書:上巻 P.58~73</p> <p>【言葉の力】 中心人物の変化をとらえる</p> <p>【おさえる】 物語の山場</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 物語の中心人物に着目して読む。(3上「サーカスのライオン」)</p>	<p>●中心人物の気持ちの変化とその理由について考えて読むことができる。</p> <p>◇人物の気持ちの変化を考えて読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、中心人物の変化をとらえるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「走れ」を読み、場面ごとに起きた出来事確かめて中心人物の気持ちの変化を捉える。 3 中心人物の気持ちの変化とその理由について考えたことを友達と伝え合う。</p> <p>【振り返る】</p> <p>4 のぶよの気持ちの変化とその理由について、どのように考えたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」をどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことや読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで中心人物の気持ちの変化について具体的に想像し、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>お願いやお礼の手紙を書こう</p> <p>・伝わりやすい文</p> <p>5時間(書5)</p> <p>教科書:上巻 P.74～78</p> <p>【言葉の力】 相手や目的を考えて手紙を書く</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 だいじなことを手紙で伝える。(3下「案内の手紙を書こう」)</p>	<p>●相手や目的に応じて書く事柄や言葉の使い方を考え、手紙の形式に気をつけて、お願いやお礼の手紙を書くことができる。</p> <p>◇手紙を書く。B(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、相手や目的に合わせて手紙を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 教科書の手紙例を読み、目的に合わせた内容と用語を確認する。</p> <p>3 依頼文状礼状の下書きをする。</p> <p>4 身の回りの人などに、依頼や感謝の手紙を書く。</p> <p>【振り返る】</p> <p>5 相手や目的に合わせて、どんなところに気をつけて手紙を書いたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・これまで学習したことや手紙を書いた経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを確認め、手紙を書こうとしている。</p>	<p>・社会科で校外学習への協力のお礼の手紙を書いたり、協力してくれた人へのお礼の手紙を書いたりする。</p>
6	<p>ことわざと故事成語</p> <p>4時間(書4)</p> <p>教科書:上巻 P.80～83</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 慣用句に慣れ親しむ。(3上「慣用句を使おう」)</p>	<p>●ことわざや故事成語について意味や使い方を理解して使うことができる。</p> <p>◇調べたことや教えたことをカードにまとめる。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>1 ことわざや故事成語について理解し使うという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。</p> <p>2 ことわざや故事成語について知る。</p> <p>3 ことわざや故事成語を集めて、カードに書く。</p> <p>4 「ことわざ・故事成語ブック」を作る。</p> <p>5 ことわざや故事成語について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】</p> <p>・ことわざや故事成語について、学習課題に沿って積極的に意味や使い方を理解し、使おうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	<p>表し方のちがいを考えよう 広告を読みくらべよう</p> <p>8時間(総6書2) 教科書:上巻 P.84～94</p> <p>【言葉の力】 表し方のちがいを読み取る</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 書き手の工夫を読み取る。 (3上「ほけんだより」を読みくらべよう)」</p>	<p>●同じ商品の二つの広告を読み比べて、目的や意図に応じた表現の工夫や効果の違いを読み取ることができる。 ◇二つの広告を読み比べる。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、広告を読み比べて、表し方のちがいを読み取るという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 教科書 P.88・89, P.90・91 の二つの広告に書かれている言葉や写真を読み取り、表現の違いについて理解する。</p> <p>3 二つの広告に書いてある、言葉や、写真を読み比べて、どんな目的や意図で誰のために作られているものなのかを考える。</p> <p>4 二つの広告全体のレイアウトから受ける印象や、広告の目的や意図によって表現の工夫や効果に違いがあることに気づき、その違いをまとめる。</p> <p>5 二つの広告から読み取ったことを活かして、身の回りの広告について表現の工夫や効果を分析し、その考察を書いて、互いに読み合う。</p> <p>【振り返る】</p> <p>6 どのような点に注目して、意図に応じた表し方の違いについて考えたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習したことや生活の中で実用的な文章を読んだ経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで目的や意図に応じた表現の工夫や効果の違いを考えて、二つの広告を読み比べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を比較する。(情報活用能力) ・表現の目的や意図、工夫や効果を考えながらメディアの情報に接する。(情報活用能力)
7	<p>ローマ字の書き方</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.96～99</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 ローマ字を使って単語を書く。(3上「ローマ字①」)</p>	<p>●ローマ字による日本語の音の表し方や二通りの書き方を理解し、ローマ字で書かれた単語を読んだり、身の回りの単語をローマ字で書いたりすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 ローマ字について学習課題を確かめる。</p> <p>2 ローマ字の書き方を確かめる。</p> <p>3 書き方を確かめながら、身近なものや名前、地名をローマ字で書く。</p> <p>4 ローマ字の書き方について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎日常に使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的にローマ字で表記されたものを読んだり、ローマ字で書いたりしようとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	<p>本は友達</p> <p>2時間(知枝2) 教科書:上巻 P.100～107</p>	<p>●読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 読書について、学習課題を確かめる。 2 読みたい本を探して読むという単元の学習の見通しを立てて、読書体験文を読む。 3 「四年生の本だな」や、P106・107で紹介している本などを手がかりにして、読みたい本を探して読む。 4 読書について、学習したことを振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>◎幅広く読書に親しんでいる。(3)オ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、進んで幅広く読書に親しみ、興味のある本を選んで読んだり読書記録を付けたりしようとしている。</p>	<p>・他教科等の学習で、学校図書館で調べる。</p>
9	<p>詩を読もう ふしぎ よかったなあ</p> <p>2時間(説2) 教科書:上巻 P.110～113</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、詩を音読する。(3上「紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる」)</p>	<p>●詩に描かれた情景について想像を広げながら、詩を音読することができる。</p> <p>◇詩を音読する。C(2)イ</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情景について想像を広げながら詩を音読するという学習課題を確かめる。 2 詩を音読し、想像したことや気づいたことを発表する。 3 それぞれの詩について想像を広げながら、工夫して詩を音読する。 4 詩を音読することについて、学習したことを振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>・文章全体の構成や文章の大体を意識しながら音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、人物の気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>◎「読むこと」において、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。C(1)ホ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、詩に描かれている情景を具体的に想像しながら、詩を音読しようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>学校についてしようかい することを考えよう ・生活の中の言葉</p> <p>6時間(話聞6) 教科書:上巻 P.114～122</p> <p>【言葉の力】 役わりを考えながら話し合う</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 ・話を聞いて質問する。(4上「たしかめながら話を聞こう」) ・司会の進行にそって話し合う。(3上「グループの合い言葉を決めよう」)</p>	<p>●話し合いの目的を理解して、司会者・提案者・参加者などの役割を果たしながら話し合い、結論をまとめることができる。 ◇学級全体で話し合う。A(2)ウ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、役割を考えながら話し合うという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 議題と目的を確かめて、グループで話し合う。 3 グループの話し合いを振り返る。 4 グループの提案をもとに、クラスで話し合う。</p> <p>【振り返る】 5 それぞれの役割で、どんなことに気をつけて話し合ったかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするなど、参加者全体に伝わっているかを注意しながら話している。(1)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A)オ</p> <p>【主】 ・これまで学習したことや話し合った経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで話し合いの目的を理解して役割を果たしながら、学級全体で話し合おうとしている。</p>	<p>・学級会で今月のクラスの目標について話し合う。 ・社会科で、防災のためできることについて話し合う。</p>
9	<p>物語の題名の意味を考えよう 一つの花</p> <p>11時間(読8書3) 教科書:上巻 P.124～136</p> <p>【言葉の力】 題名の意味を考える</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 人物の性格を想像する。(3下「モチモチの木」)</p>	<p>●物語の題名の意味について、物語の中の叙述と結び付けて具体的に考えることができる。 ◇物語の題名の意味を考えて読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 これまでに学習したことや読書経験を振り返って、題名の意味を考えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 「一つの花」を読み、人物の気持ちの変化を想像する。 3 「一つの花」という題名の意味について考えたことを友達と伝え合う。</p> <p>【振り返る】 4 「一つの花」という題名には、どのような意味があるかと考えたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。(C)1エ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C)1カ ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B)1ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に登場人物の気持ちについて、場面の移り変わりや結びつけて想像し、物語の題名の意味について考えたことを伝え合おうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>文の組み立てと修飾語 ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3) 教科書:上巻 P.138～141</p> <hr/> <p>既習事項との関連 様子を詳しく表す言葉を知り、文中の修飾・被修飾の関係をとらえている。(3上「くわしく表す言葉」)</p>	<p>●主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えることができる。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主語、述語、修飾語の働きを理解して文の構成を捉えるという学習課題を確かめる。 2 修飾語の役割を知り、主語、述語、修飾語からできている文の構成について理解する。 3 主語、述語、修飾語からなる文の語と語の関係を理解して、文の構成を図示したり文を作ったりする。 4 主語、述語、修飾語それぞれの働きについて、学習したことを振り返る。 	<p>【知・技】 ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ ◎主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係について理解している。(1)カ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、積極的に主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えようとしている。</p>	
10	<p>山場のある物語を書こう</p> <p>8時間(書8) 教科書:上巻 P.142～147</p> <p>【言葉の力】 組み立てを考えて物語を書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連 設定を考えて物語を書く。(3上「想ぞうを広げて物語を書こう」)</p>	<p>●始まりの場面と終わりの場面の絵を見て、山場で起こる変化を想像し、構成を工夫して物語を書くことができる。 ◇物語を書く。B(2)ウ</p> <p>-----</p> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学習したことを振り返って、組み立てを考えて物語を書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 3種類の絵の組を見て、「物語の設定」について考えたことや想像したことを話し合い、自分の物語の絵を選んで自分の「物語の設定」を考える。 3 物語の組み立てを考える。 4 「人物カード」や「組み立てメモ」をもとに、物語を書く。 5 書いた物語を互いに読み合い、楽しいと思ったり面白かったところを伝え合う。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 山場で起こる変化を表すために、どんなことに気をつけて、物語を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめる。 	<p>【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりの段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや創作経験を振り返って学習活動を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く文章の構成を考えて、物語を書こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>くらしの中の「和」と「洋」について調べよう くらしの中の和と洋 ・目的に合わせて調べよう</p> <p>14時間(読8書6) 教科書:下巻 P.8～23</p> <p>【言葉の力】 調べたことを関係付ける</p> <p>【おさえる】 くらべてまとめる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 文章のまとまりを捉える。(4上「ヤドカリとインギンチャク」)</p>	<p>●何をどのように比べているかを読み取り、比較の仕方を意識して、調べたことをまとめることができる。</p> <p>◇「和」と「洋」について調べ、紹介文にまとめる。C(2)ウ</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返り、調べたことを関係付けるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 「くらしの中の和と洋」を読む。</p> <p>3 調べることを考える。</p> <p>4 自分の課題について調べ、紹介文を書く。</p> <p>【振り返る】</p> <p>5 完成した紹介文を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>6 調べたことを、どうやってまとめて文章にしていっただかを振り返り、身に付けた「言葉の力」をどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <p>◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く目的を意識して文章を要約し、紹介文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科や社会科学の学習で調べたことをまとめる。 ・情報を比較して捉える。(情報活用能力)
11	<p>聞いてほしいな、心に残っている出来事</p> <p>6時間(話聞6) 教科書:下巻 P.24～27</p> <p>【言葉の力】 聞き手に伝わるようにくふうして話す</p> <p>【おさえる】 声の表情</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 話の組み立てや話し方をくふうする(3下「外国のことをしようかいしよう」)</p>	<p>●自分が感じたことが聞き手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話すことができる。</p> <p>◇心に残っている出来事をクラスで話す。</p> <hr/> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、聞き手に伝わるように工夫して話すという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 話題を決め、材料を集める。</p> <p>3 話を組み立てる。</p> <p>4 話す練習をする。</p> <p>5 みんなの前で話す。</p> <p>【振り返る】</p> <p>6 気持ちが聞き手に伝わるように、どのように話し方を工夫したかを振り返り、身に付けた「言葉の力」をどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている。(1)オ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫している。A(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことや発表した経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く話の中心を意識し、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して、心に残っている出来事を話そうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	つなぐ言葉の働き 2時間(知技2) 教科書:下巻 P.28～29	●接続する語句の働きを理解して正しく使うことができる。 1 接続する語句の働きをについて学習課題を確かめる。 2 接続する語句の働きを理解する。 3 練習題を行い、接続語の使い方について理解を深める。 4 接続する語句について、学習したことを振り返る。	【知・技】 ◎接続する語句の役割について理解している。(1)カ 【主】 ・接続する語句について、学習課題に沿って積極的に理解し使おうとしている。	
11	読んで考えたことを伝え合おう ごんぎつね 13時間(読10書3) 教科書:下巻 P.30～52 【言葉の力】 人物どうしの関わりを考える 【おさえる】 情景 ----- 【既習事項との関連】 中心人物の変化を捉える。 (4上「走れ」)	●中心人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を伝え合うことができる。 ◇読んで考えたことを伝え合う。C(2)イ 【つかむ】 1 これまでに学習したことを振り返って、人物どうしの関わりを考えると、学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 「ごんぎつね」を読み、ごんと兵十の気持ちを考える。 3 物語を読んだ感想を友達と伝え合う。 【振り返る】 4 友達と感想や考えを伝え合い、どのようなことを感じたり考えたりしたかを振り返って、身に付けた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている(1)オ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。C(1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・これまで学習したことや読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く感想や考えを持ち、伝え合おうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	<p>「ふるさとの食」を伝えよう</p> <p>・文末の書き方</p> <p>9時間(書9)</p> <p>教科書:下巻 P.54～60</p> <p>【言葉の力】 理由や事例を挙げて書く</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 自分の考えとその理由を書く。(3下「自分の考えをつたえよう」)</p>	<p>●地域に伝わる料理や特産品の良さが読み手に伝わるように、自分が考える良さとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くことができる。</p> <p>◇リーフレットを作る。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、理由や事例を挙げて書くという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 お薦めしたい地域に伝わる料理や特産品を決める。</p> <p>3 お薦めするものの良さを伝えるために、根拠となる情報を収集する。</p> <p>4 リーフレットの割り付けを考える。</p> <p>5 リーフレットを作成する。</p> <p>【振り返る】</p> <p>6 読み手に伝えたいことを、どんな理由や事例を挙げて書いたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ</p> <p>・考えとそれを支える理由や事例の関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く自分が考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし書き表し方を工夫して、リーフレットを作ろうとしている。</p>	<p>・学級活動の話し合いで自分の意見とそう考えた理由を話す。</p> <p>・社会科で、自分が考える地域の特色や良さを紹介する。</p> <p>・書く事柄をカードに書き出して整理する。(情報活用能力)</p>
12	<p>じゆく語の意味を考える</p> <p>・ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3)</p> <p>教科書:下巻 P.62～64</p>	<p>●二字熟語の構成について理解し、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>-----</p> <p>1 二字熟語の構成について学習課題を確かめる。</p> <p>2 構成の五つの型を理解する。</p> <p>3 練習題を行い、知識の定着を図る。</p> <p>4 二字熟語の構成について学習課題を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>・様子や行動、気持ちや性格を表す分語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、熟語の構成について理解し進んで文や文章の中で使おうとしている。</p>	
12	<p>本をみんなにすすめよう</p> <p>4時間(説4)</p> <p>教科書:下巻 P.66～69</p> <p>【言葉の力】 本のみりよくや良さを伝える</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 読む目的に応じた本を選んだり、読みたい本を探したりする。(3下「本をしようかいしよう」)</p>	<p>●本を読んで感じたり考えたりしたその本の魅力や良さを友達に伝えることができる。</p> <p>◇本の魅力や良さを友達に伝える。</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、本の魅力や良さを伝えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】</p> <p>2 本の魅力や良さを伝えるために、本を選ぶ。</p> <p>3 伝える方法について特徴や書く内容を理解し、自分の勧め方方法を決める。</p> <p>4 選んだ方法で、勧めたい本の魅力や良さを伝え合う。</p> <p>【振り返る】</p> <p>5 本の魅力や良さを伝えるために、どのような工夫をしたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことや読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで本を読んで感じたことや考えたことを共有し、本の魅力や良さを友達に伝えようとしている。</p>	<p>・社会科や総合的な学習の時間などで、身近な地域のことを調べて、魅力や良さを伝える。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>百人一首の世界 ・得意な札を見つけよう</p> <p>3時間(読3) 教科書:下巻 P.72～77</p> <hr/> <p>既習事項との関連 俳句に慣れ親しむ。(3下「俳句に親しむ」)</p>	<p>●短歌を音読して言葉の響きやリズムを感じ取ったりかるた遊びをしたりしながら、伝統的な文化を楽しむ。 ◇短歌を音読する。</p> <hr/> <p>1 短歌について慣れ親しむという学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 2 短歌を音読して、短歌について知る。 3 短歌を音読して、好きな歌を選ぶ。 4 グループでかるた遊びを行う。 5 短歌について、学習したことを振り返る。</p>	<p>【知・技】 ◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで言葉の響きやリズムに親しみながら、短歌を音読しようとしている。</p>	
1	<p>言葉で考えを伝える</p> <p>6時間(審6) 教科書:下巻 P.78～83</p> <hr/> <p>既習事項との関連 理由や事例を挙げて書く。(4下「「ふるさとの食」を伝えよう」)</p>	<p>●自分の考えを相手に伝えるために大切なことを確かめ、文章を書くことに生かすことができる。 ◇自分の書いた文章や発表したことを振り返り、よりよい表現を考えて書き直す。</p> <hr/> <p>つかむ 1 これまでに学習したことを振り返り、自分の考えを相手に伝えるために大切なことを確かめるとい学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 事実と意見を区別して自分の考えを述べる大切さをとらえる。 3 自分の考えを伝える際の言葉の使い方をとらえる。 4 自分の考えを支える理由の述べ方をとらえる。 5 自分の考えと理由の関係をとらえる。</p> <p>振り返る 6 自分の考えを伝えるためにどのような点に気をつけるとよいかを振り返って、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。(1)カ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、文章を書き直そうとしている。</p>	・道徳科で、自分の意見を書いて話し合う。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のわらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>日本語の教え方について考えよう 教え方を生みだそう</p> <p>11時間(読7書4) 教科書:下巻P.84～96</p> <p>【言葉の力】 筆者の考えから自分の考えを広げる</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 もの見方や考え方を捉える。(3下「人をつつむ形」)</p>	<p>●筆者の考えを読み取り、日本語の教え方に対する自分の考えをまとめることができる。 ◇教材文を読み、考えたことを書く。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、筆者の考えから自分の考えを広げるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「教え方を生み出そう」を読み、筆者がどのように自分の考えを述べているかを確かめる。</p> <p>3 筆者の述べていることに対して、思ったことや考えたことを話し合うとともに、日本語の教え方についての自分の考えを書く。</p> <p>4 筆者の考えを参考にして、新しい教え方を考える。</p> <p>振り返る</p> <p>5 文章を読み、そこからどのようにして自分の考えを広げていったかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ</p> <p>・「書くこと」において、目的を意識して、想像したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、見通しを持って、進んで文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、自分の考えを広げて書くこととしている。</p>	<p>・道徳科で筆者の意見に対して自分の考えを持つ。</p> <p>・読み取った情報を、自分の知識や経験から多角的に捉える。(情報活用能力)</p>
2	<p>調べたことをほうこくしよう</p> <p>9時間(話聞9) 教科書:下巻P.98～105</p> <p>【言葉の力】 分かりやすく伝える</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 話の組み立てや話し方をくふうする。(3下「外国のことをしようかいしよう」)</p>	<p>●アンケートの結果について、分かりやすく伝えるために、話の構成を考え、話し方を工夫して話すことができる。 ◇調べたことを報告する。A(2)ア</p> <p>-----</p> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことや発表をした経験を振り返って、分かりやすく伝えるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 グループごとに、生活について調べることを決める。</p> <p>3 グループで話し合い、アンケートを作って調べる。</p> <p>4 アンケートの結果をまとめる。</p> <p>5 組み立てを考え、話す練習をする。</p> <p>6 調べたことを報告する。</p> <p>振り返る</p> <p>7 調べたことを分かりやすく報告するために、どのようなことに気をつけたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、問の取り方などに注意して話している。(1)イ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。A(1)イ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことや発表の経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く相手に伝わるように話の構成を考え、話し方と工夫して、調べたことを報告しようとしている。</p>	<p>・社会科や理科で調べたことをまとめて報告する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>同じ読み方の漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の漢字 ・キーボードの入力と漢字 <p>3時間(知技3)</p> <p>教科書:下巻 P.106～109</p>	<p>●漢字にはそれぞれ意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分けることができる。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同じ読み方の漢字について、正しく使い分けるとい学習課題を確かめる。 2 漢字には一字一字意味があることを確かめ、同音異字・同訓異字の使い分けの練習をする。 3 いろいろな同音異字・同訓異字を探し、それらを正しく使い分けられた文を考える。 4 都道府県名で用いられる漢字を確認する。 5 同じ読み方の漢字について、学習したことを振り返る。 	<p>【知・技】</p> <p>◎前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、進んで漢字のそれぞれの意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分けようとしている。</p>	
2	<p>読んで感じたことを伝え合おう</p> <p>世界一美しいぼくの村</p> <p>13時間(読10書3)</p> <p>教科書:下巻 P.110～126</p> <p>【言葉の力】</p> <p>物語の終わり方について考える</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】</p> <p>題名の意味を考える。(4上「一つの花」)</p>	<p>●物語の結末について感じたことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。</p> <p>◇物語を読み、結末について考えたことを伝え合う。(2)イ</p> <p>-----</p> <p>つかむ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 これまでに学習したことや読書経験を振り返って、物語の終わり方について考えるという学習課題を明確にして、学習の見通しを立てる。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「世界一美しいぼくの村」を読んで、感じたことや考えたことを伝え合う。 3 ヤモの思いを考え、感想を伝え合う。 4 「世界一美しい村へ帰る」を読み、感想を伝え合う。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 二つの物語のそれぞれの終わり方について、どのようなことを感じたかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <p>・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ</p> <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ</p> <p>・「書くこと」において、相手を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】</p> <p>・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで感じたことや考えたことを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元のねらい／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	<p>「言葉のタイムカプセル」を残そう</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻P.128～131</p> <p>【言葉の力】 文章のよいところをたしかめる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 文章のよいところを伝え合う。 (3下『わたしのベストブック』を作ろう)</p>	<p>●1年間に書いた文章を読み返し、文章を書く学習を通じた自分の成長を振り返るとともに、学習したことを生かして、十年後の自分に伝えたいことを手紙に書くことができる。</p> <p>◇十年後の自分に向けて手紙を書く。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでに学習したことを振り返って、文章のよいところを確かめるという学習課題を明確にし、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 1年間で書いた文章を読み返し、1年間で振り返る。</p> <p>3 十年後の自分に手紙を書く。</p> <p>4 「わたしのベストブック」を作る。</p> <p>振り返る</p> <p>5 自分の文章のよいところを、どのように生かしていきたいかを振り返り、身に付けた「言葉の力」を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って自分の書いた文章を振り返り、進んで自分の文章のよいところを見付けて、十年後の自分に伝えたいことを手紙に書こうとしている。 	<p>・他教科等の学習で書いた文章を振り返る。</p>